

点接触トランジスタの発見(1947)



John Bardeen,
1908- 1991

バーディーンがゲルマニウム・ダイオードの整流作用の実験を行っていた時、もう一本の金属針を立てて電圧分布を測っている際、間違えて電圧を印可したところ、メータの針が大きく振れて、1947年に増幅作用を発見した。

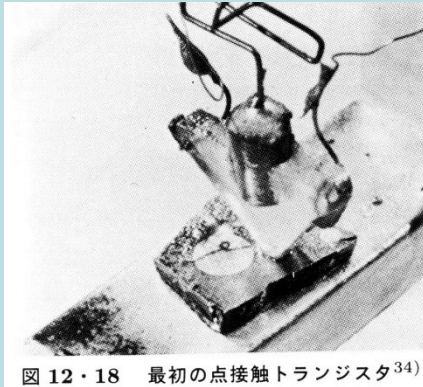
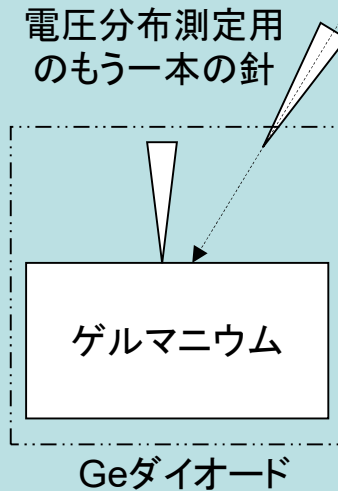


図 12・18 最初の点接触トランジスタ³⁴⁾

エルステッドの電流による磁気作用とヘルツによる電磁波の発見の状況と酷似している。

